

斯道文庫

— 蔵書と研究 —

斯道文庫について

斯道文庫^{しどうぶんこ}は1938（昭和13）年、麻生商店社長^{あそうたかきち}麻生太賀吉氏が福岡市に設立した財団法人がその前身です。日本精神文化の研究を目的として典籍蒐集に力を注ぐ一方、研究および普及活動などを行いましたが、45年6月の空襲で設備は焼失、蔵書は被害を免れたものの翌年解散に至りました。その後、1951年、九州大学図書館に旧文庫蔵書および麻生家蔵書が寄託され、契約満了を迎えた58年、慶應義塾に旧文庫蔵書の寄贈、麻生家蔵書の寄託が行われました。これを核として人員・設備を整え、60年、慶應義塾大学斯道文庫が創設されます（62年に慶應義塾大学附属研究所斯道文庫と改称）。

ここからは、日本及び東洋の古典に関する資料の蒐集保管ならびにその調査研究を目的とする研究所として再出発し、原本の購入・寄贈・寄託のみならず、全国各地あるいは海外所蔵の古典籍の調査およびマイクロフィルムによる蒐集を早くから行うなど、資料の充実を図ってきました。2008（平成20）年には「教育」を設置目的に加え、大学院・学部の講座、大学院生の研究嘱託採用、日本学術振興会特別研究員の受け入れも行っています。

2010年には開設50周年記念展覧会「書誌学展」を開催、その図録を『図説書誌学 古典籍を学ぶ』（勉誠出版）と題して刊行しました。

蔵書紹介

斯道文庫の蔵書は、財団法人時代の旧斯道文庫本、慶應義塾時代の一般蔵書、それと、両方の時代を通じて収集・寄託され、旧蔵者のまとまりで別置されている特殊文庫の三つに大きく分かれています。ここでは洋装本の研究書・参考書類を除き、古典籍についてのみ紹介します。()内はその文庫を特定するための符号で、請求番号の一部です。

一般蔵書



左：現斯道文庫蔵書印（旧）
右：現斯道文庫蔵書印（新）

貴重書 (091・092)・準貴重書 (B1・B2) / 普通書

▶約600点 / 約3,000点

物初贖語 25巻 (存巻 1-6、12-23)

南宋の禅僧の語録。ほぼ同時代の刊本。

増刊校正王状元集註分類東坡先生詩 25巻

北宋の詩人蘇軾の詩集。宋末元初刊。室町時代の禅僧の書入がおびたしい。

菅家文章 12巻

菅原道真の漢詩文集。初代尾張藩主徳川義直の旧蔵書で、江戸初期の写本。

新撰菟玖波集 巻1

准勅撰集の連歌撰集。成立にきわめて近い時代の写本。

旧斯道文庫本



旧斯道文庫蔵書印

旧斯道文庫本 (シ)

▶約800点

儒学・国学・仏教・神道など東洋思想に関わる基本的な書物を集める。

四分律藏第三分尼出家捷度 巻40

五月一日経と呼ばれる奈良時代の写経。平安時代初期の訓点^{しふんりつぞうだいさんぶん に しゅつげんど}が白墨で記される。

特殊文庫

【国書中心の特殊文庫】

しいがもと 椎本文庫 (09A)

▶約170点 1939年収蔵（追加購入分あり）

上代文献の研究、和歌の注釈・分析・実作を行い、多数の著作を残した国学者^{たちばなもりべ} 橘守部 (1781-1849) の自筆稿本および手沢本。主要なものは『未刊影印 橘守部著作集』(全10巻、汲古書院、1979-81) に収める。



橘守部所用印

なんこじきでん 難古事記伝 5巻

自筆草稿本。本居宣長『古事記伝』に対する批判書。

センチュリー文化財団寄託資料 (セ)

▶約8,900点 2009年寄託

文字文化の保存と継承を目的とする同財団が収集したコレクション。墨蹟・古筆・絵画などのほか、書道関係の古典籍、古筆本家に伝来した筆跡資料（整理中）も含まれる。

にじょうたもうじしよじょう 二条為氏書状

藤原定家の孫で歌道家の当主が弟の冷泉為相に宛てたもの。

いつくしまもうでのき 巖島詣記

康応元年 (1389) 頃書かれた、著者今川了俊自筆本。

ひらおか 平岡文庫 (ヒ)

▶283点 1958年収蔵（寄贈）

佃島住吉神社社家^{よしふみ}平岡好文 (1867-1933) 旧蔵書。神道・国学・有職などの基本的な書籍が多い。

しよりょうず 諸陵図

大和国その他の歴代天皇陵約60図が淡彩で描かれた江戸中期の絵図を転写した卷子本。

たんざわ
丹澤文庫 (タ)

▶ 167点 2013年収蔵 (寄贈)

元文庫長で、古辞書研究の関場 武 旧蔵書。江戸時代の漢字辞書や節用集類が中心で、特に『増続大広益会玉篇大全』は網羅的に収集されている。

特殊文庫

【漢籍および
日本漢学関係書中心の特殊文庫】

やすい
安井文庫 (ヤ)

▶ 1,181点 1939年収蔵

安井息軒(1799-1876) およびその孫安井小太郎(朴堂、1858-1938)の自筆稿本および蔵書。息軒は飢肥藩(現在の宮崎県内)出身の漢学者で、江戸に出て塾を開き、また幕府儒官としても活躍、清朝の学問を継承発展させた。小太郎は、第一高等学校教授を長く務め、日本漢学に詳しく、また息軒の代表的な著作を『漢文大系』(富山房)に収めている。



安井息軒
蔵書印

ろんごしゅうせつ
論語集説 20巻

先行研究を集大成した注釈書の自筆稿本。細密な書入訂正が見られる。

ゆうじゅうきゅうもん
遊従及門

自筆の門人録。中村正直・谷干城・亀谷省軒らの名前が見える。

はまの
浜野文庫 (ハ)

▶ 約4,900点 1942年収蔵



浜野知三郎

広島県出身の漢学者で大東文化学院理事を務め斯文会でも活躍した浜野知三郎(1879-1941)の旧蔵書。和漢の各分野にわたるが、特に松崎謙堂や狩谷掖斎などの江戸後期の考証学者の稿本類に特色がある。また出身地ゆかりの学者である菅茶山を中心とする書簡・筆跡類約450点(整理中)も含まれる。

てんせきかいちよういけん
典籍開雕意見

松崎謙堂自筆草稿本。幕府に対して今後どのような漢籍を刊行すべきかを提案した文章。

さいかんどういこう
歳寒堂遺稿

北条霞亭の漢詩文集。森鷗外の史伝執筆時に参考にされた本で、鷗外の書入が見られる。

かめいかがく
亀井家学文庫 (マ1)

▶ 約140点 1958-59年収蔵 (寄贈) (追加購入分あり、整理中)

福岡において荻生徂徠の学統を守った漢学者亀井南冥(1743-1814)・昭陽(1773-1836)父子とその一族の著作の稿本類および写本。一部を『亀井南冥・昭陽全集』(全8巻、葦書房、1978-80)に収める。

まんれきかないねんかん
萬曆家内年鑑

文化12年(1815)刊の年代記に、昭陽以下三代にわたり、一家の重要な出来事を書き入れた、いわば亀井家年表。

たんどう
坦堂文庫 (ホ)

▶ 約2,000点 (洋装本を除く) 1965年永青文庫より寄託



古城貞吉

熊本県出身の漢学者で、東洋大学教授を務めた古城貞吉(坦堂、1866-1949)の旧蔵書。『楚辞』を中心とする中国文学関係書のほか、熊本ゆかりの漢学者・漢詩人の著作も豊富で、編者の一人だった『肥後文献叢書』(全6巻、隆文館、1909-10)の底本にも使われている。

そじ
楚辞 17巻

清代初期刊の汲古閣本。古城貞吉の詳密な書入がある。

えいぜんざつし
瀛壖雜誌

上海の地理風俗を記した、清代末期の学者王韜(おうとう)の自筆稿本。

おおそね
大曾根文庫 (オ)

▶ 約400点 (洋装本を除く) 2009年収蔵 (寄贈)

日本漢文学を専門とした中央大学教授大曾根章介(1929-93)の旧蔵書。古代から近世まで、幅広く日本漢文学関係書を収集している。

ほんちようもんずい
本朝文粹 14巻目 1巻

平安時代の漢詩文アンソロジーの寛永6年(1629)古活字版。

とばら
戸原文庫 (戸原)

▶ 140点 1996・2012年収蔵 (寄贈)

幕末の志士で秋月藩士戸原卯橘(1835-63) および戸原家旧蔵の漢学関係書および書簡・筆跡類。

いまぜき 今関文庫

▶約1,000点 (洋装本を除く) 2014年收藏 (寄贈、整理中)

漢学者・漢詩人であり、戦前戦中は政府要人の顧問としても活躍した今関天彭てんぽう (1882-1970) の旧蔵書。主要な蔵書は現在カリフォルニア大学バークレー校および名古屋市立鶴舞図書館にあり、その残りでは晩年まで手元に置いていた漢籍および日本漢詩文関係書、それに交遊のあった日中の文化人・政治家等からの書簡類、自筆の日記・原稿など。



今関天彭
蔵書印

まつばやしげいげつ 松林桂月文庫 (マ2)

▶約200点 1963年收藏 (寄贈、一部整理中)

南画家松林桂月 (1876-1963) 旧蔵書。画論・法帖・漢詩文など。

ながしま 永島文庫 (語)

▶約250点 慶應義塾大学言語文化研究所より寄託

中国音韻学を専攻した東京都立大学名誉教授永島栄一郎えいいちろう (1900-78) の旧蔵書。明清および民国時代の文字・音韻関係書。

ガスパルドヌ文庫 (G)

▶約400点 慶應義塾所蔵・斯道文庫保管 (整理中)

フランスの東洋学者エミール・ガスパルドヌ (1895-1982) の旧蔵書。主たる研究対象であったヴェトナム関係の漢籍およびヴェトナム本が中心である。その他の蔵書のうち欧文書のほとんどは図書館が保管する。

特殊文庫

【欧文書、洋装本、近代の学者
の原稿類等中心の特殊文庫】

コルディエ文庫 (ホ)

▶約1,900点 1973年永青文庫より寄託

フランスの東洋学者アンリ・コルディエ (1849-1925) の旧蔵書。東洋学の欧文書籍のコレクションで、交流のあった学者の著作や抜き刷りも含む。



コルディエ蔵書票

明治仏教史編纂所蔵書

▶約3,300点 1983年友松諦道氏より寄託

神田寺かんだでらを創建した友松円諦ともまつえんたい (1895-1973) が主宰した明治仏教史編纂所の蔵書で、主に明治期刊行の新聞・雑誌・図書および編纂所作成の明治仏教者叢伝稿本などを収める。

かわむら 河村文庫 (河村)

▶約300点 1939・1958年收藏 (寄贈)

旧斯道文庫設立の精神的支柱であった理学博士河村幹雄みきお (1886-1931) の旧蔵書。人文系の欧文書、自筆稿本などから成る。

はやしたいすけ 林泰輔自筆稿本類 (林)

▶18点 1963年林直敬氏より寄託

甲骨文字および論語の研究で知られる漢学者林泰輔 (1854-1922) の自筆稿本。

よこやま まつもと 横山・松本文庫 (横山・松本)

▶43点 1983年收藏 (寄贈)

室町物語・古浄瑠璃等の研究と幅広い古典籍蒐集で知られた横山重 (1896-1980) の校訂した出版物および翻刻・書誌等の原稿類。本人の訂正書入等がある。他に元文庫員松本隆信旧蔵の原稿類もここに含めている (整理中)。

NOTE

名称の由来

「斯道 (しどう)」とはもともと『礼記』『論語』『孟子』など、儒教の経典において仁や義といった孔子の教えを指す語でしたが、日本では幕末以降、尊皇思想の影響で日本古来の人の道といった意味でも用いられ、それを踏襲した「教育勅語」を直接の出典として、日本精神文化＝斯道の探究という意味をこめて名付けられました。現在は、英文名をInstitute of Oriental Classicsとするように、広く東アジアの書物を対象に、原本に基づく書誌学的方法によって古典研究を進めています。

研究体制（2018年10月現在）

文庫員は専攻を、研究嘱託は斯道文庫における研究テーマを掲げました。

斯道文庫長	教授	さ さ き たかひろ 佐々木孝浩	日本書誌学・和歌専攻
文庫員・主事	教授	ほりかわ たかし 堀川 貴司	日本漢文学専攻
文庫員	教授	すみよし ともひこ 住吉 朋彦	中世日本漢学専攻
	准教授	いちのへ わたる 一戸 渉	日本近世文学・学芸史専攻
	准教授	たかはし ゆうすけ 高橋 悠介	日本中世文学・寺院資料研究専攻
	助教	やしあま きこ 矢島明希子	漢籍・東洋史専攻
研究嘱託	文学部教授	いしかわ とおる 石川 透	室町時代物語の諸本研究
	経済学部教授	つだ まゆみ 津田 真弓	日本近世後期小説の研究
	文学部教授	おがわ たけお 小川 剛生	戦国大名主催の連歌・和漢聯句の本文研究
	文学部准教授	こうやまりんたろう 合山林太郎	近世・近代日本における漢籍受容の研究
学生研究嘱託	大学院博士課程	さいとうしんいちろう 斎藤慎一郎	日本における漢籍受容
日本学術振興会特別研究員		みやがわ しんや 宮川 真弥	北村季吟の研究

他に事務職員2名、事務嘱託2名、臨時職員数名が予算管理、図書整理、閲覧対応、その他庶務等に当たっています。

研究事業計画（2018年度）

一 国書の部

中世以前成立の韻文、中世以前成立の散文、近世成立の韻文散文、学者・学問史の四分野についての調査研究。

二 日本漢学書の部（国書のうち漢文体著作および漢籍注釈・改編書類）

博士家関係書、禅林関係書、近世漢学者の著作の三分野についての調査研究。

三 漢籍の部—漢籍総目録編纂のための書誌調査並びに研究

中国版本（宋元版・明清版）、旧鈔本、日本刊本、朝鮮版・越南版の調査研究。

四 蔵書調査・目録の作成

斯道文庫所蔵特殊文庫、旧藩校等（興譲館高等学校・鶴岡藩致道館文庫など）、諸文庫（建仁寺両足院・陽明文庫・佐川町立青山文庫・尾道市立中央図書館・銚子市円福寺など）の調査・撮影・目録作成。

五 書物文化史の研究

日本古典籍の形態、近世入木道についての研究。

（一～三についてはそれぞれ細目として個別のテーマを設定、また、四における調査成果が一～三および五のテーマに還元されています）

利用案内

■ 所蔵書の目録

椎本文庫	「斯道文庫論集」39・41（2005・07年）
安井文庫	「斯道文庫論集」35・36（2001・02年）
浜野文庫	『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵浜野文庫目録』（汲古書院、2011年）
亀井家学文庫	「斯道文庫論集」16（1979年）
坦堂文庫	「斯道文庫論集」28・37・38・47（1993・2003・04・13年）
大曾根文庫	「斯道文庫論集」50（2016年）
コルディエ文庫	『コルディエ文庫分類目録』（斯道文庫、1979年）
明治仏教史編纂所蔵書	『明治仏教史編纂所蔵目録』（明治仏教史編纂所、1972年）
永島文庫	「言語文化研究所紀要」32（2002年）

一般蔵書、旧斯道文庫、坦堂文庫のうち集部・国書、およびその他の特殊文庫については、文庫備え付けのカード目録・冊子体目録のみ。また、今関文庫は整理中のため目録が未完成です。

なお、貴重書等一部の蔵書は『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫貴重書蒐選』（汲古書院、1997年）および『図説書誌学古典籍を学ぶ』において紹介しています。

■ 所蔵マイクロフィルム・デジタル画像の目録

『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫収蔵マイクロフィルム等目録初輯』（斯道文庫、1988年）および『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫撮影建仁寺両足院蔵書マイクロフィルム目録初編』（「斯道文庫論集」44、2010年、別刷として汲古書院発売）があります。両足院蔵書を除く1989年以降の増加分は文庫備え付けの台帳のみです。

■ デジタルアーカイブ「宮内庁書陵部収蔵漢籍集覧」

2014年3月より、住吉朋彦を研究代表者とする科学研究費補助金の研究成果として上記のデジタル画像および書誌データを整備し、2016年6月より一般公開しました。宋版および南北朝時代以前の写本を収めています。

■ 斯道文庫所蔵古典籍解題目録データベース

2014年度より5年計画で、堀川貴司を研究代表者とする科学研究費補助金を得て、上記目録のデータベース化、および未整理本の整理を進め、斯道文庫所蔵古典籍の総合的な目録データベースの作成をめざしています。貴重書等には詳しい書誌データおよび解題を付し、書誌学的な研究成果も合わせて発信します。2018年3月に試験公開しました。

■ 問合先：慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45（慶應義塾大学三田キャンパス図書館旧館四階）

電話：03-5427-1582 FAX：03-5427-1719

詳しくはホームページ <http://www.sido.keio.ac.jp> を御参照ください。